

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会  
第7回大会スケジュール（予定）

(2024.9.6)

- \* 参加者の参考のため、現段階でのスケジュールをお知らせするものです。正式なスケジュールは、2024年9月末頃に公開予定の大会プログラムをご参照ください。
- \* ラウンドテーブルは90分、研究発表は30分（発表20分、質疑応答10分）です。

2024年10月26日（土）

10:30～12:00 ラウンドテーブル

親子（面会）交流の事例検討—家族療法・解決志向アプローチ適用の可能性—

企画者：村尾泰弘（立正大学）、司会・話題提供者：山崎祥子（秋田家庭裁判所）

話題提供者：古市理奈（びじっと・離婚と子ども問題支援センター）

話題提供者・指定討論者：村尾泰弘（立正大学）

13:00～14:00 基調講演

子による交流拒否の理解と支援

講演者：青木聡（大正大学）、司会：野沢慎司（明治学院大学）

14:10～17:00 大会シンポジウム 家族のトランジションと子ども

家族のトランジション、そしてその先に向けて

—トラウマインフォームドケアの視点を踏まえて—

シンポジスト：福丸由佳（白梅学園大学）

ふくらみのある解決を目指して—離婚事件の過程における子ども・父母のサポート—

シンポジスト：丹羽有紀（弁護士法人興和法律事務所）

司会：渡邊祥子（にじいろ法律事務所）

\* ディスカッションは青木聡（大正大学）も参加

2024年10月27日（日）

10:30～12:00 ラウンドテーブル

【教室①】

高葛藤（high conflict）離婚事例への支援・介入プログラムの適用可能性に関する検討②

企画者：曾山いづみ（神戸女子大学）

話題提供者：直原康光（大阪大学）、小川洋子（日本女子大学）、曾山いづみ（神戸女子大学）

指定討論者：福丸由佳（白梅学園大学）

## 【教室②】

共同親権民法でおやこの関係性を育んでいく！

－自助にもなるアウトドア体験で親子も助け隊－

企画者：古賀礼子（第一東京弁護士会）

話題提供者：糠盛創（ツリタキ探検隊）

13:30～14:10 年次総会

14:20～16:30 研究発表

## 【教室①】

離婚後の親プログラムの普及の課題－海外のプログラムとの比較検討－

小田切紀子（東京国際大学）、青木聡（大正大学）

家事調停の意義－何を調停するのか？家族の成立と構造の仮説－

菅原浩明（さいたま家庭裁判所熊谷支部）

DV 被害者である母親の裁判手続きにおける心理的体験－子をめぐる裁判に着目して－

岩城尚子（大正大学大学院、東京弁護士会）

## 【教室②】

幼少期の父母葛藤の認知及び親の離婚が青年の自尊感情、抑うつに及ぼす影響について

西野七海斗（琉球大学大学院）、草野智洋（琉球大学）

子どもの心理的適応と父母・親子の関係性はどのように変化していくのか？

－離婚から4年未満の短期縦断データを用いた検討－

直原康光（大阪大学）、菅原ますみ（白百合女子大学（非会員））

ステップファミリー形成過程における非血縁子との関係形成

久保原大（東京都立大学）

ノルウェーにおける離婚後の子どもの養育と家族のかたち

－あるステップファミリーへのインタビュー事例から－

野口康彦（茨城大学）、野沢慎司（明治学院大学）、青木聡（大正大学）